

# からすを讀んで藝術に励もう 藝術の秋

# からすを讀んで読書に励もう 読書の秋

# からすを讀んでも駄目だから、これだけは自分でやってね スポーツの秋

でも大変なんですからア・・奥さん、身体大事に  
して下さいヨ。ホントなんですから・・

by 三平



第30号

発行所 東京都中野区中央5丁目1番2号西田ビル4階 〒164-0011 からす新聞本社 電話03-3382-5963 ©からす新聞本社  
からすホームページ <http://www.go-karasu.com/> 投書・お問い合わせのE-mail : [colors@go-karasu.com](mailto:colors@go-karasu.com)

最近、我が家に同居人が増えた。白地に黒い斑が点在する、ネコ目ネコ科の普通の猫。嫌いな人々は、猫は自分勝手なのがどうもねえ、などと言うことが多い。正しくその通りで、彼女はひたすら我が道を行く。眠りたければ眠り、暴れたければ暴れ、喰いたければ喰う。空腹時に食べ物が見当たらないと、にやあにやあにやあにやあ大騒ぎ。それでも駄目だと、寝ている私の鼻を齧ったり。傍らに人無きが若き生き様に、ほとほと呆れ果てる毎日だ。  
彼女の我儘な生活態度を改めようと説得を試みてはいるのだが、根本的な障壁がそこにある。コミュニケーションの容易ならざること。教える仕事を二〇年以上も続けているが、これほど苦労させられることは滅多にない。いや、初めてだ、と言おう。何となれば、先方は人語を解さず、一方の私はと言えば、猫語に関してはそれこそ珍紛漢。外国語を学ぶよりもっと学ぶべき言葉があったのだ、と嘆いたとて、あとの祭り。紀伊國屋で猫語のテキストを探してみても見当たらず、そもそも、日常の雑事に忙殺されて、そんなことにまで手が回らない。自ずと人語で話しかける仕儀となる。うちの猫は言葉がわかるんですよという羨ましい話をしばしば耳にするけれど、どうも我が同居人はそうではないようで、十回話かけて、わかつ

たように見えることが一度あるかないか。それも、実際にはわかつたように見えるような気がする、という程度のあやふやな印象でしかない。そもそも、理解したか否かを確認する手立てがない。そして、鼻を齧られる。  
現在では、人類の営みの多くは、大きに言語に依存している。猫とのコミュニケーションの齟齬のおかげで、あらためてこのことに思い至る。群棲する限り、他者との何らかの情報伝達には必須であり、その道具には言葉を用いるのが手取り早い。というより、本来、言語はそのために誕生したはずである。あなたは何かを伝えるのに、太鼓を叩いたり、狼煙をあげたりするだろうか。実行しているとすれば、意志の疎通という目的自体に失敗する可能性が高いばかりでなく、人々は吃驚し、あなたは奇人の烙印を押されかねないだろう。人にどう思われようと大した問題ではないが、少なくとも効率的でないことは確かである。  
直立歩行が両手を解放し、道具や火の使用を可能にした、というような説明をされたことがある、それが動物から人間への第一歩である、というような意味合いで。では、言語の使用は何を解放したのだろうか。時間と空間である。  
(最終面に続く)

今日の紙面から

- 二面(オーラ面)
- 松本と話そうピンポンパン
- 三面(ヤンヒポ)
- ヤンヒポのインターセプトコースをとれ!
- 四面(からすライブラリー)
- からす新聞おすすめの本・CD・映画  
などを紹介します。
- 五面(国際食文化面)
- 忍のベトナムを食い尽くせ
- 六面(芸術面)
- レイズ・ギャラリー

からす新聞は学習塾カラーズ  
が母体となつて、世  
界に文化と芸術を発  
信すべく発行してい  
る新聞です。  
誰でも自由に参加  
できます(無茶じゃ  
ない範囲で)。



## 松本と話そう。ピン、ポン、パン

今晚、冷たい雨の中帰って来て、この秋初めて暖房を入れた。

カラーズの良い子のみなさん、元気でやってますか？ピンポンパンは相変わらずなんとかかやっています。

なんか世の中は『ON対決』だとかいうことで騒いでいる(実はそれで金儲けしたいマスコミだけなのかも知れない)が、その図式はとても20世紀を締めくくるのに最適だと思う。

王vs長嶋。左vs右。記録vs記憶。真面目vsユーモア。慎重vs閃き。などなど、二元的に常に比較対象されてきた二人。このような2人の偉人のこのような図式は、日本の野球界の奇跡、V9、ならぬ世界の音楽界の奇跡、ビートルズのポールとジョンを思い起こす。

ポールは左利きであり、ジョンは右利き。ビートルズの楽曲のなかではポール作のものが、そしてソロになってからもポールの方が圧倒的にジョンをレコードの売り上げでは勝っている。ポールは著名なアメリカ人弁護士の娘と結婚し、「サー」の称号をイギリス王室から貰い、それを誇りに思い、今58歳ののだが、ジョンは得体の知れない東洋人の怪しい女と結婚し、思いのままニューヨークへと渡り、アメリカ合衆国政府に警戒され、CIAに盗聴されたりもし、最後は40歳で気の違ったバカに射殺された。

が、そんな二人がビートルズのマジックを生み出していたのだった。

20世紀はこのような二元が一元へと融合していった時代ではなかったのだろうか。資本主義vs社会主義。白人vs黒人。男vs女。マクロvsミクロ。これらが反発しあい、そして融合して行く過程のなかでのエネルギーの結晶が今の粹組みである。社会民主系資本主義国家。黒人の国連事務総長誕生。ゲイ。そして、その一元は何でも有りをつくり出している。

そう、21世紀は何でも有り、から始まる。俗に云えば自由。自由といえば近代から現代へと至るなかで人類が目指した究極のもの。でも、人間って我が儘なのか、心の病に冒されているのか知らないが自由を得た際に放棄してきたものを、「我々は人間らしさを失ってしまった。それを回復しないと人類は滅亡へと向かう。」等言っている。人間らしさ、という言葉自体、不自由なものである。結局、やはり不自由が欲しい、と言っているようなものなのである。「~らしさ」「日本人らしさ」「男らしさ」「学生らしさ」「青年らしさ」「老人らしさ」「サラリーマンらしさ」「芸術家らしさ」「劇団員らしさ」「マスコミ人らしさ」、、、。死語。もう、死語にしよう。20世紀に置いていく言葉にしよう。

『ON』はその幕引きをする。

それではまた、みなさん。

Masami.H の

## #pragma hasten!

### 『コンピュータの脳みそ』 第7回

「第0.5回」で、コンピュータの脳みそは計算を同時に2つ3つ一気に片づけたりするという話をちらっとしましたが、今回から数回に分けてその計算手法を掘り下げていきます。

たとえば計算ドリルをこなすとき、あなたはどのように進めますか？

問題を読む。答えを考える。答えをノートに書き込む。次の問題を読む・・・という進め方をする人がほとんどでしょう。コンピュータの脳みそも同じような計算の進め方をしています。

ところで、コンピュータの脳みそには一定間隔で信号が入ってきます。音楽で使うメトロノームのように、カチッ、カチッ・・・と。そして、この信号が1回与えられるごとに、問題を読む、答えを考える、答えを書き込む・・・という作業をひとつずつこなしていきます。この信号が1秒間にどのくらい与えられるかを「クロック周波数」と呼びますが、信号1回でひとつの作業をこなすのですから、クロック周波数が高ければ短い時間で多くの信号が与えられる=短い時間で多くの計算をこなすことができるということになります。

クロック周波数をとにかく上げればコンピュータの脳みそはいくらでも高速化できるように見えますが、そうは問屋が卸してくれません。信号1回でひとつの作業を行うとはいっても、計算や答えの書き込みが終わらないうちに次の信号が来てしまうと「え？まだ前の作業が終わってないよ。どーしょどーしょ！」と、コンピュータの脳みそはパニックを起こしてしまいます。計算を速くこなすことができるようにするには、クロック周波数を上げると共に、ひとつひとつの作業を速くこなせるように脳みその構造を作ってやらなければならないということになります。

ところが、この「ひとつひとつの作業を速くこなせるように脳みその構造を作る」ことが難しいのです。詳しい理由は省きますが、小さなスペースに多くの回路を組む～電線を引っ張る必要が出てくるのです。それこそ1ミリメートルの幅に何百本、何千本というほどに。もちろん製作には高度な技術が必要でし、「もっとクロック周波数を上げたい！」と考えた場合には、現在の技術では製作不可能なほどに回路を詰め込まなければならないかもしれません。

では、クロック周波数を上げずになんとか高速化させる方法はないものか。実はあるんです。もっとたくさんの製品を作りたいが、ひとつひとつの作業をこれ以上高速化させることができないので、流れ作業を導入したり、作業人数を増やしたりしよう！製品を作る工場で例えるならこういう状態です。この「流れ作業」作業人数を増やす」と似たようなことをコンピュータの脳みそにもやらせて、計算を同時に2つ3つ一気に片づけさせるのです。

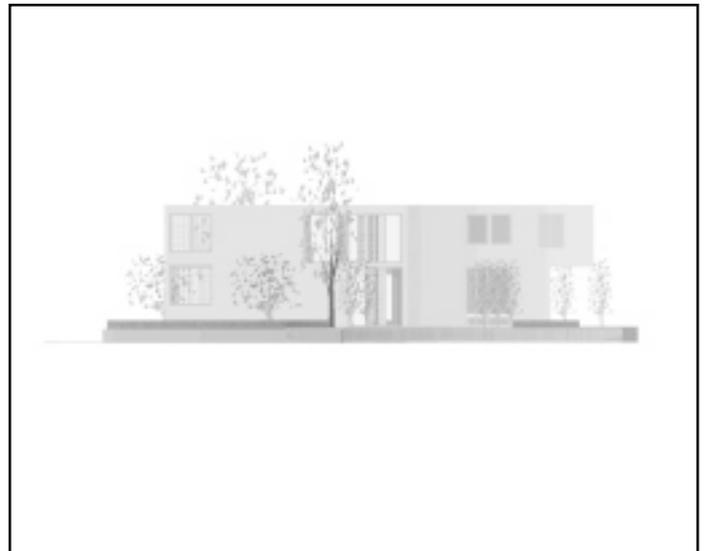
詳しくは次回に・・・

;-/-

今回はみ出しネタ：

その1：脳みそに一定間隔で入ってくる信号の、信号が来てから次の信号が来るまでの時間を「~クロック」と呼びます。信号1回分の時間なら「1クロック」、信号3回分なら「3クロック」と呼びます。

その2：本文にて「信号1回でひとつの作業をこなす」と記した通り1クロックで終わる作業がほとんどですが、作業によっては数クロック分の時間がかかる場合があります。かけ算割り算、小数の計算、脳みその外部に信号を出す場合等です。



# ヤンヒポのインターセプトコースをとれ!

ストーカー(stalker): 忍び寄り人、獲物にこっそり近づく人、密猟者

「獲物」なんと響きの良い言葉だろうか。聞いただけでゾクゾクしてくる。東洋人は元々農耕民族だと言われている。しかし、獲物を狩る喜びは万人に共通と言えるはずだ。読者も釣りや虫取りは経験があるだろう。国家総動員で狩る側に回ろうではないか。

ご存知の方がどれだけいるか定かではないが、ヤンヒポの本業は探偵稼業なのだ。ちまたにあふれるストーカーがやっている事は、趣味か仕事かの違いはあれど全く同じなのである。しまいにはストーカーをストーク(stalk)する事もある。さてその方法とは、、、。まず、第一にターゲットが知人が見ず知らずかによる。顔見知りの場合はターゲットの視界に入るのは大変具合がよくないので、かなり距離を持って監視する事になる。その場合は顔の見えない電話攻撃が大変効率良い。電話番号というのは思いの外簡単に調べられる。よく有る手口が毎月届く請求書の略取。届く日程は大体決まっているので、待っていれば向こうからやってくる。最近は集合住宅の鍵付きポストが増えているのが、封書を入れるスペースは必ず開いているのでそこへ細い棒の先に粘着テープでも張ればたやすく入手可能だ。自分で試してみればいかに簡単か解るはずだ。しかし、ポストの所在というのは間違い無く住居だという普遍的な関係があるので、住所が解らない場合はそちらを調べる方が先である。ターゲット・アドレスを調べる方法としては、尾行が手っ取り早い。職業的な観点から、尾行のたやすい対象というのは毎日同じパターンで生活している人間だ。一口にいっても尾行というのは、ドラマで見るほど簡単ではない。気づかれると成立しないので、なるべくなら距離を取りたい。日本の住宅事情だと町中は問題ないが、自宅周辺といのは人通りが少なく細い路地が多いので距離が短いと気づかれやすいのだ。その場合、行動パターンが毎日同じなら、無理をする必要はない。3回ぐらいに分けて突き止めるぐらいの気構えがあれば目標は達成できるだろう。余談だが、住所が解ればすぐに管轄の区役所等へ行き住民票を取る。住民票を請求するにあたり、正式な身分



証の提示義務はない。パスポート申請のために代理店が請求する場合なども良く有る。ただ、最近は多少うるさくなってきているのだが、話術に自信があれば切り抜けられる。その際に忘れてならないのは「本籍地記載」これで、住民票から本籍地が解り通常だと親元などの実家が判明する。ここまで来れば真面目に生活している人民ほど逃げきれなくなるのだ。戸籍簿も善し悪しと言えるだろう。さらに余談だが、車やオートバイのナンバーからは登録住所が確認できる。これは管轄の陸運局へ行って通常の手続きで判明する。元々、車を買うというのは登録情報を公開する事に同意したとみなされるわけだ。後すべき事は、本人の出したゴミのチェックだ。あまり認識がないようだが、ゴミ袋に入れてごみ捨て場に捨てたゴミは所有権の放棄とみなされて、持っていてもドロボーにはならない。しかし、多くの場合ゴミとして捨てるで一安心してしまうのが人情のようだ。しかし、ゴミには各種請求書、食事の痕跡や趣向、生活水準を示す手がかりが山のように含まれている。相手の情報をつかみたい時には有効な方法といえるのだ。昨今は分別だのなんだのと仕分けが多いので飲みかけのビール缶と一緒に請求書を探すなんて事にはならなくて済むのだ。ちなみに、人の郵便物を略取する事はもちろん、住民票入手するにあたり身分を偽って申請する事などは完全に違法行為なので、実際の行動に移してはならない。さらに、尾行についても違法なのだ。行為が証明されると訴追されるのでやってはいけないのよ。

違法といえば、日本国内法では武器の所持も堅く禁じられている。しかし、ターゲットが弱い相手ばかりとは限らないので自衛の手段を準備する事もある。自衛用の武器としてポピュラーなのは、スプレー式の催涙系ボンベ。高圧電気ショックを与えるスタンガン、携帯式の特殊警棒、2次攻撃を抑制するための、ハンドカフ(手錠)などだ。なんども言うが、これらも全て日本国内で携帯していると大抵の場合軽犯罪法に抵触するので、実際持ち歩いてはいけないのよん。よく小型ナイフも同類として認識している輩がいるが、刃物の場合は一切微罪では済まないで絶対持ち歩いてはいけない。

さて、ここまでで住所や電話の索敵法を説明したが、スペースがなくなってきたので次の機会があれば、実際の運用方法を解説してみるかもしれないな。

## 2000年も、日本は危ない!

あなたの平穏な生活を脅かすストーカーを本場米国で培った最新の技術と装備を駆使して退治します。あなた一人で悩まないでください。

# ストーカー バスター

相談無料  
秘密厳守

防犯用品販売・  
防犯対策指導も  
致します。

produced by  
**P.D.Agency**

tora@pda.co.jp

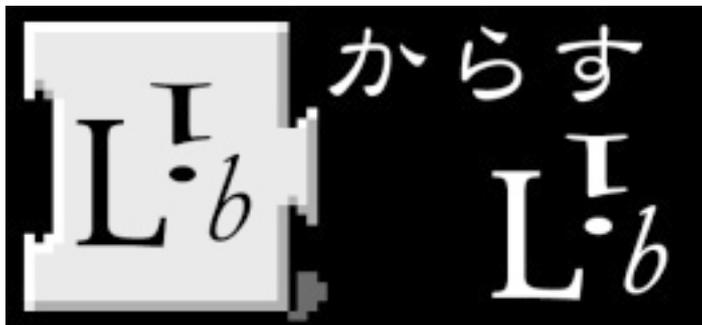
1843 N. Cherokee AVE: APT. #216

Los Angeles: CA 90028

USA

voice : +1-310-493-1001

facsimile : +1-323-466-5645



## 『Balinese Gamelan Gong: Music from the Island of the Gods』

Interra、1995年、IN5700



私には民族音楽(近年、「ワールド・ミュージック」という言葉が多用されるようになってきているが、どうも私は馴染めない)を聴きたくなる時期がある。西洋音楽とは違った語法の響きは、慣れ親しんだ音楽とは異なる刺激をもたらしてくれる。

ガムランは、金属・木・竹などで作られた、多様な打楽器で構成されるオーケストラによって演奏される。その多くが音程を持ち、(西洋音階に毒された耳には奇異に響くであろう)独特の律に則る楽曲は、極めて整然と統御されている。ここにあるのは、例えば、アフリカの音楽のようなプリミティブな力強さではなく、むしろ、洗練された調和だと言える。しかしながら、あなたが身を委ねることができさえすれば、底を流れるエネルギーが今までとは違う世界へ連れていってくれるかもしれない。(全太)



## 『close friends』

出版社、2000年 ISBN



私がamazon.comで初購入した写真集の紹介。

おもちゃの拡大写真が載っていて、絵本のような作りになっている。

かわいい顔して、意外と冷たい目をしてるなー、とか、迫力ある怪物かと思ったら、実はまぬけな面(つら)じゃーん！でもやっぱりかわいいなー、なんて発見ができてとにかく楽しい写真集。

この写真集はパルコブックセンターや、洋書関係の書店なら店頭に並んでいるんで覗いて見て欲しい(ホントにかわいいから男性はちょっと恥ずかしいかも...)。(れい)



## 痩せゆく男(Thinner)

1996年公開(アメリカ)

ビデオ:アスミック

DVD:東芝デジタルフロンティア

監督:トム・ホランド

原作:スティーヴン・キング

出演:ロバート・ジョン・バーク、ジョー・マンテーニャ、カリ・ウーラー、ルシンダ・ジェニー、マイケル・コンスタンティン、スティーヴン・キング



三十路を過ぎて腰回りの脂肪が気になってきた今日この頃羨しい話。スティーヴン・キングについては以前にもいくつか紹介したと思うが、米国作家の中で常にハイレベルな人気を維持しているホラー作家だ。「スタンド・バイ・ミー」「シャイニング」等々メジャーなものを上げるだけでもキリがない。大体において、原作と映画だと原作の方が楽しいと感じるが、この映画についても当てはまらないわけではない。しかし、映像でしか解らない湿った寒々しい雰囲気は映画ならではのだろう。

欧米の物語には少なからずジブシーという民族文化が顔を出す(昨今ジブシーという言葉は差別用語になり放送コードにひっかかるらしい)。日本にはあまり馴染みがないので実感が沸かないが、神、呪い、などオカルティズムな匂いを出すには最適ようだ。この「痩せゆく男」もそんなジブシーに呪いをかけられた、ある太っちょの話なのだ。秋の夜長に軽い気持ちで観賞してみてもどうだろう。

(小張寅僧)





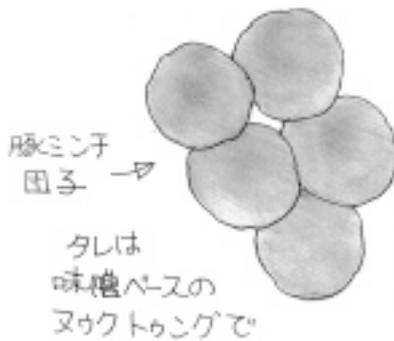
# 世界をくいつくせ!

随分涼しくなってきました。こう過ごしやすくと何だか涼しげ&爽やかなお料理が食べたくてきます。そこで今回はベロナム・・・もとい「ベトナム料理」です。老舗で何十年もやっているお店は別格として、けっこう昔からそこそこ日本にもお店はありましたが、ここ何年か、なんだか流行ってますよね、ベトナム料理店及びベトナム料理。ところで、んっ? あれれ何だか爽やかと流行りが繋がってないよ?・・・と自分で思っちゃったのでここで自分説を(御意見&???)が忍いので)

これはベトナム料理の特徴と言ってもいい部分もチョットはあるのでよく読んでおきましょう。

1.皆さんもよくご存知のようにフランスの植民地にされていたベトナムは、フランス文化と料理の影響をかなり受けていることと東南アジア独特の文化がいい感じに融合されている所がお洒落っぽくて、今かなりいい感じらしい。これは、例えば、アパレル業界なども、ベトナム料理店もしくはベトナム料理をおいている店を結構オープンさせているし、大人気のデパ地下にも有名なベトナム料理店があったりして、当然とびつく人多し。た

## ネムヌウン



豚ミンチ  
団子

タレは  
味噌ベースの  
ヌクトゥンゲで

パインセオと同様に  
野菜(サニーレタス)ハーブ  
(香菜、ミント、大葉、青ネギ)  
などを巻いて食べますが  
こちらにはライスペーパーも  
アウスして...!

しかにタイ料理店などより洗練されている感じの店って多いかも・・・。私的には、フランスにはちょっと憧れはあるしフランス料理は大好き。でも、ただ美味い〜と思うだけです。

2.ハーブの使い方が本当に大胆なのに、なぜかそれが鼻につき邪魔になることもなく、料理をひきたてて味わい深くしています。でも、大胆といってもこのハーブ、この素材にはこれというように、きちんと伝承され続けてきた基本があるようなのですが、風味はもちろんのこと、見た目にもなんと爽やか!(ヨシ! つながった)

3.料理とはチョット外れますが、食器がいいんです。籐や竹や木製の物、それからバッチャンという陶器など、素朴でありながらも上品でお洒落(あっ、言っちゃった)。でも、これは仕方ない。本当にいい感じなんです。値段もそこそこで、あの素朴な上品さはお勧めです。ベトナム料理の爽やかさや洗練された感じは、あの食器が一役も二役もかっているように思います。さて前口上?・・・も済みましたのでベトナム料理の核心へ(大嘘)

ベトナムの食生活ですが、農村部など地域的に事情が大分違ってくるので、今回は主に都会でのことを。まあ同じような事情があり、重なる部分はあると思いますが、まず朝は外食で、という人が多いようです。大抵の女性が働いていること、そして水事情が悪いことや夜、皆がシャワーを浴びるため、水が出なくなり、洗濯が出来ないから。朝は洗濯から始まるので食事まで手がまわらないガスの普及の遅れが理由にあげられるそうです。これらは年々改善されてはいるそうですが、まだまだ快適とはいかないのでしょう。さてさて、私も皆さんも大好きな(・・・多分)

## フォーボー

もやしも  
たくさん  
のせる!



フォーを使った  
代表的料理  
牛肉麺です。  
(鶏肉にする  
とフォーガー、  
ニラ、香菜、  
ミント、レモン  
など好みの  
ハーブをもっと  
のせるじ美味!

外食ですから、どんな料理があるの? っていうのが気になるころでよね?! ベトナムでは一般的に(というか、よく東南アジアでは)ごく当たり前に存在している沢山の屋台(規模が結構大きなものも含めて)や路上飯屋というのが、庶民の日常の外食にあたるそうです(もちろんレストランや食堂なども沢山ある)。ベトナムの朝は早く、5時には路上の朝飯屋が準備を始めるそうです。道端にはバナナの葉に包んだおこわ、鍋を火にかけ皿を並べるフォー屋さん、蒸した芋やとうもろこしを売る女性に、これこそフランスの影響たるどころのサンドイッチ屋。これは日本でも只今大人気なのですが、フランスパンにハムや肉を焼いた物と野菜を挟みハーブをのせベトナムの代表的調味料ヌクチャム(ニョクマム ベトナムの魚醤・酢・砂糖・大蒜・レモン・唐辛子などで作る代表的な万能だれ)やチリソースををふりかけてある。近頃は日本でもメニューにしているお店もあるし、場所は忘れましたが屋台が出ているそうなので、探すのは任せまして、是非食べてみて欲しいな! なんて、実はそれが無理でも材料さえあれば自分で簡単に作れます。本当~これがもうフランスパンと東南アジア独特の味が合わさってオイチッ お勧めなんですよ!

かわりまして、昼はというと、ベトナムでは昼寝をするために自宅に帰り食事も済ませ、というのが習慣というか、普通だったらいいのですが、今は郊外に住み、そこから仕事場に通う人も多くなったことや店も増えたこともあって、外食で昼を済ませる人がとても増えたそうです。食堂も沢山の屋台があるそうですが、やっぱり屋台。様々な料理を売る沢山の屋台が並び様は、まるで縁日みたいだそう

たとえばそこにはベトナム風お好み焼きのパンセオ(パインセオ)やベトナム版おふくろの味系の定番おかずの数々、そして七輪で串に刺した肉団子(ネムヌウン)を焼いて売る店などなど。あっ! これを忘れてはいけなかった、朝食でも書いたフォー屋さん(フォーとは米が原料の麺ですがそれを使った麺料理も指しベトナム北部が本場)。日本のベトナム料理店でも必ずおいてあり、やはり定番という感じですが、このフォー、とてもさっぱりしているんです。けれど、物足りないという感じではないんですよね。地域や材料によって違いはありますが、主に鶏や

(最終面に続く)

生地には小豆粉ではなく  
上新粉にターメリック  
も加えて黄色にしながら  
焼いて作ります。  
「モチッ」  
ではなくて  
「パリッ!」  
具は豚肉  
海老、もやしなど  
を挟みます。  
食べる時は野菜、ハーブを巻いて。



## バンセオ

## Rei's Gallery



## 「テーブルの上」

オレンジ色のかぼちゃ。かぼちゃ色のオレンジ。うーん。黄色と赤の中間色を一般的にオレンジ色と呼ぶが、かぼちゃの色は取り囲んだ空間によってその色もだいぶ変化する。

かぼちゃの中身の色を指してオレンジ色って呼ぶのはどうなんだろう？と思いつつ描いた作品。

この紙面は白黒だから、この作品を見ている人には自分の思い浮かべるカボチャ色、その回りをつつむ空間の色を想像して欲しい。

## 保守と革新

模擬試験その十一

相変わらず面白味のない日本の政治の世界では、もう死語になってしまった「保守」と「革新」だが、その本来の意味からは、伝統を守ろうとする保守があり、それを壊そうとする革新があって歴史がある、というような言い方ができるだろう。そのせめぎ合いを、イギリス王室を例に見てみよう。

問題 次の文を英語に直せ。

若者は時として私達より賢いこともあります。

答えは、

The young can sometimes be wiser than us.

(若者は時として私たちより賢いこともあります)

去年のことだが、イギリスのエリザベス二世女王陛下のこの一言がちょっとした波紋を呼んだことがあった。

「間違っている」と嘸みついたのはイギリスの新聞「Observer」だ。内容の問題ではない。文法的に間違っているというのだ。正しくは

The young can sometimes be wiser than we (are).

だろうと。

では、実際にどう使われているのかというと、than の後ろに来るのは we are、we、us のいずれもO.K.。もともとは we are だったということだけである。

Observer にしてみれば、女王陛下たるものが、伝統の正しい英語が使えなくてどうする、ということだろう。確かにそれは、日本の天皇陛下が金メダルを取った高橋尚子に

「レースの前の日は良く寝れましたか？」

と声をかけるようなものだ。その他の皇族はまだしも、少なくとも天皇がそんなへまをやらかすとは思えないが、とにかく「正解」は「寝られましたか」である。

しかしイギリス王室に「保守」を期待するのむずかしいかもしれない。革新の立場で、というより自らの欲望のおもむくままに保守的な考えに真っ向から反旗を翻した王が何人もいる。彼らに比べれば、エリザベス現女王のちょっとした「文法ミス」などささいなことである。スキャンダルの宝庫、イギリス王家のやりたい放題をちょっと覗いてみよう。

## 交和パレイル

平日くすぶっている君

祝福の宴の演出をしてみないか。

03-3371-8264

Kowa Pareille

Having an affair? That's a tradition, isn't it?

「不倫？ 伝統でしょう」

エリザベス二世の不肖の息子にして現代の次期国王チャールズは、まだダイアナと離婚する以前に「不倫はヘンリー八世以来の伝統だ」と開き直った。なるほど、伝統を守っているのだから、彼こそ保守だといふべきか。

I did not marry my first wife, did I?

「最初の妻とは結婚をしなかった。そうだろ？」

16世紀の王ヘンリー八世は、男子を生まない王妃の女官アン・ブリンとねんごろに。アンが身ごもったため離婚を画策するが、保守の親玉ローマ・カトリック教会がこれを許さずもない。ならばとヘンリーは自前の Anglican Church(英国国教会)をつくって自らがその首長の座に座り、結婚そのものをなかったことにしてしまった。

アンが身ごもった子は、長じてエリザベス一世となったが、男子はついに生まれずじまい。したがってアンとの結婚もまたもや「無効」となった。そんな調子でヘンリー八世は生涯六人の妻を持った。

Love of Century

「世紀の恋」

96年のチャールズとダイアナの離婚のちょうど60年前の1936年。チャールズの母エリザベス女王の伯父、エドワード八世もずいぶん派手なことをやってのけていた。

皇太子時代から彼は目立つ存在だった。堅苦しい王室の伝統を嫌い、当時タブーとされていた人前で煙草を吸うことなど朝飯前。1914年に第一次世界大戦が勃発すると、自ら前線に出ていくと申し出たりして周囲の者を困らせたが、国民の人気は高かった。

「世紀の恋」の幕が上がるのは1930年。独身を通してきた皇太子は41歳。運命の人はアメリカ生まれのウォリス・シンプソン夫人。二人が出会ったとき彼女は人妻であり、すでに一度の離婚を経験していた。

王位を継ぐべき息子の身を案じつつ、1936年1月20日に父王ジョージ五世が崩御。翌21日、皇太子はただちに国王エドワード八世として即位するが、その胸のうちは苦悩に満ちていた。王位が、それとも愛する人か。

相手に離婚歴がある上に現在も離婚係争中というのであれば、いかにヘンリー八世にやりたい放題やらせた国教会でも反対。離婚してもいいのは国王の側だけなのである。10月27日にシンプソン夫人の離婚が成立するが、2度の離婚歴を持つアメリカ人女性が、当時七つの海を支配する大英帝国国王の王妃となることに許可が与えられる見込みはなかった。

エドワードの選択は退位だった。12月10日、彼は下院に退位書を送り、わずか326日の王位に終止符を打った。翌11日、ウィンザー城からBBC ラジオを通して昨日までの国王は国民にこう告げた。

“ But you must believe me when I tell you that I have found it impossible to carry the heavy burden of responsibility and to discharge my duties as King as I would wish to do without the help and support of the woman I love. ”

「しかし私の言葉を信じてほしい。愛する女性の助けと支持なくして、国王の重責を担い、義務を果たすことはできないのです」

退位後「ウィンザー公」の称号を与えられてフランスに渡った彼は、彼地で晴れて最愛の人との結婚を果たした。

世紀の恋に幕が引かれたのは1972年。居を構えていたパリにおいて、ウィンザー公はウォリスに看取られてその生涯を終えた。

守るべきは何か。壊すべきは何か。その基準は一人ひとりの心のうちに存するものだろうが、やはり同じ国に住んでいる国民同士で似通ったところがある。その意味でイギリス王室はイギリス国民の鏡だといえる。賛否両論あるにせよ、エドワードやチャールズの行為を許す雰囲気はイギリスにはあるし、女王の「言い間違い」もご愛嬌である。(望月)

(五面から続く)

牛、それから豚などでとったスープに、大抵それに合った肉や魚介そして野菜など。ちょっとラーメンに近い気がします、味は関西風うどんに...あえて言い過ぎてしまえば...近いかな?(苦しい~)でも、お決まりのハーブを含む生野菜をのせれば、途端になんともベトナム~になってもう本当に美味しい。

その他、これも米できてお馴染みビーフンの汁(ブンリウ)なども人気ですが、このビーフンには汁なしなんていうものもあります。こちら肉のほかに生野菜やハーブもたくさん入り結構美味しい。でも、味付けがヌクチャム(大抵)なので、サラダっぽいというか...マタマ言い過ぎちゃえば...減茶苦茶アジアな冷し中華に...。(黙)

ところで、北部の米製うどんの様な形状のフォーと違い、南部では葛が原料で、きしめん状のフォーティエが有名です。こちらフォー同様ベトナム料理店にもありますが、結構タイ産の極太麵センヤイ(米原料)を

使うところが多いんです。知らないと思って~(知ってるけど)とちょっとガッカリすること多しで...

何だかフォーのことばかり書いてしまいましたが、ベトナムでは朝昼食とは限らず一日に必ず一回は食べるといわれているほどの国民食らしいのですから、押さえておいて損はありません。

何だか少し話が反れてしまいましたが、朝食も昼食も(他の時間帯も)屋台はあるだろうけれど)様々な料理が並ぶ沢山の屋台で食べたいものをなんて...、アアもうなんだか考えるだけで溶けちゃいそうです、私は...。それに、ホーチミン市の人気レストランでは、少し高いけれど見た目も美しいビジネスランチセットなんかもあるらしいので、なかなか愉快的な食生活がおくれそうですね。東京ではいくらでもレストランや食堂があり、数限りない様々な料理が食べれるけれど、屋台っていうとラーメン、焼き鳥、おでんとかばかり頭に浮かぶ私。それも夜間で常にお酒が付いてまわるようなイメージが...。それはそれで好きなんですけれど、イマイチ屋台の料理の種類が少なくてつまらない。って思っていたら、ここ数年の間に随分いろいろな屋台(昼夜、各国料理も含め)も増えました。けれど、毎日が縁日(様に食べ物屋ばかりで)...なんていうのはないですもんね。ベトナム(そのほかの屋台文化炸裂の国全部)が本当に羨ましい限りです。ところで、なんで縁日のヤキソバやお好み焼きはあんなに不味いのに美味しいかと思ってしまうのでしょうか? ...うーん。  
● 軌道修正を試みないまま...つづく。

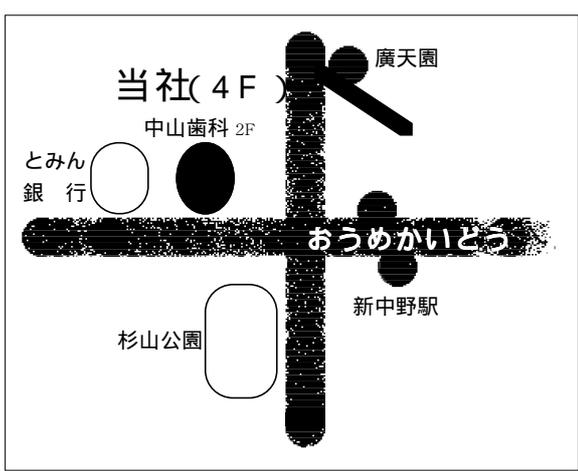
### 口だけ男の「ナチズムを語る」

憎悪が銃弾となって少年の体を貫き、さらに膨らんだ憎悪が礫の雨となって兵士の頭上に降り注ぐ。ついこの間まで聞かれていた希望の声は、怒号にかき消されようとしている。パレスチナ、今ここで起きていること、それは今後の私達への試練でもあり、また可能性でもある。私からす新聞に書こうとしていること、このパレスチナの悲劇、喜劇と考える人もいるのだろうが、これに間接的に関わりがあり根本では同じものがある。ナチス=ドイツについてである。アドルフ=ヒトラーとその取り巻き連中が引き起こした、とてつもない惨禍について知らない人はそういないだろう。ヨーロッパで推定5000万人の被害をだし、その中には推定600万人のユダヤ人が、“処理”されたのは良く知られている。ただ、ナチスがどのようなものかかイメージが先行して、実際がどんなものだったかは意外と知らない人が多いと感じている。そこで私は事実を伝え、ナチスという不可思議な“運動”を解きほぐしたい、と思っている。今後二度とナチスの詐術に騙されないためにも、パレスチナ様にならないためにも。皆さん、よろしく。次回は当時の時代背景を見て何故にナチスが支持されたのかを考えてみたいと思います。また当然、異論、反論、疑問もあると思うのでそんな時には [asthmania@docomo.ne.jp](mailto:asthmania@docomo.ne.jp)まで。松本修樹でした。

(一面から続く)

私にとつては、このことこそ動物から人間への大きな初めの一歩だと思えるのだが、如何が出来るか。  
本質的に、私たちは「いま」「ここ」という地平上の存在である。そこに私が存在する限り、その時が「いま」であり、その場が「ここ」である。精密な計測を必要とする実験をしているのである。けれども、「いまも」「ここも」、範囲の曖昧な、恣意的な枠組みではあるが、それが私たちの依って立つところであることに変わりはない。それは、猫やその他の生物にとつても同じことだろう。大きな違いがあるのは、ヒトには未来や過去、「ここ」以外の場所がある、という点である。ネコには未来や過去がない、と言っているのではない。彼らにはそれを認識する能力(そして、その必要性がないのではないか、ということだ。  
言葉を使つたことにより、情報の交換が容易に

なり、保存も可能になり、結果として、遠方や後の世代へと、時間と空間を跨いだ伝達が可能になった。これだけが言葉が私たちに与えてくれたものではない。こういうことが可能になったことで、そのことについて、つまり、時間や空間についての認識を持ちうるようになったのである。肉体は永遠に「いま」「ここ」を離れることはない。けれども、心は解放され、目に見えぬ人、手の届かぬ物に触れることができるようになった。  
「いま」「ここ」に猫と私がいる。彼女と私がわかりあえる日は来るのだろうか。わからない。孰れにせよ、その日が来るまでは、いま膝の上でごろごろと喉を鳴らしながら寛いでいるこの生き物は、朝になるとまた私の鼻を齧ろうとするのだろう。  
(全太)



来社見学を御希望の方は左記のところへ。  
丸ノ内線新中野駅徒歩〇分

編集後記  
からす新聞第三〇号、無事、発行できました。新聞に限らず、これからも新企画目白押しなので、みなさんの御協力をお願いいたします。御意見・御要望をぜひお寄せ下さい。次号発行予定日は二〇〇〇年十一月二十五日です。編集協力者、特派員記者、及び、投稿を熱烈にお待ちしております。

1クラス4人までの少人数制学習塾  
**アアア**  
中野区本町2-50-12 ドエル中野201号  
03-3379-1451  
宝仙寺  
ファミマ  
中野坂上駅  
**アアア**